

JHL NEWS

No. 6

2010年10月12日

●発行●
日本ハンドボールリーグ委員会
委員長・高村 誠一
東京都渋谷区神南1-1-1
電話 03-3481-2494

大同、大崎が5連勝、北國も全勝キープ

～第35回 日本ハンドボールリーグ・第5週～

第35回日本ハンドボールリーグ・第5週は10月9、10日に男子5試合、女子6試合が行われ、男子では大同特殊鋼と大崎電気が開幕からの連勝を5と伸ばして首位を並走、女子は北國銀行がHC名古屋、広島メイプルレッズを連破、7戦全勝で大混戦の2位以下を尻目にがっちりとして首位を守った。

大同－トヨタ紡織九州戦は、前半15分過ぎから西端、中畠らで加点した紡織が14－13と1点リードで前半を終えた。後半に入り、大同・高木、紡織・松野の好セーブもあり、緊迫した試合が続いた。大同が武田のミドルシュート、渡久川のポストシュートで加点すれば、紡織も呉のカットイン、中畠のサイドシュートなどで応戦し、終盤まで試合はもつれた。残り15秒、紡織は1点ビハインドの場面で速攻をかけたがシュートまで至らず、大同がきわどく1点差で勝利した。

大崎－湧永戦は、前半17－13と4点リードで折り返した湧永が、後半に入っても大崎のミスを得点に結びつけるなどして7点差までリードを広げた。しかし、13分に猪妻を投入した大崎が猛反撃。猪妻、豊田の連打で勢いを取り戻し、15分過ぎに湧永が2人の退場者を出すと、宮崎らで4連続ゴールを奪い、27－27の同点に追いついた。湧永はタイムアウトをとるも、大崎に傾いた流れを食い止めることができず、26分までに再び4連取した大崎が鮮やかな集中打で逆転勝利をおさめた。

ここまで4連敗と苦戦を強いられていた前回2位のトヨタ車体は、豊田合成を相手に門山、銘苅の突破、崎前の速攻などで快調に得点を重ね、23－10とリードを奪って前半を終えた。後半に入って合成も激しいディフェンスを仕掛けて相手ミスを誘い、森光、中村らで反撃に転じたが、16分過ぎから香川、光増らの連続得点で32－17とこのゲーム最大の点差をつけた車体が今シーズン初勝利を確実なものとした。

女子の広島－オムロン戦は、広島の厚みのある組織的なディフェンスの前にオムロンのミスが目立ち、速攻や植垣の多彩なシュートで好スタートを切った広島が18－10と大差をつけて前半を折り返した。後半に入るとGK藤間の好守が光るオムロンが開始からの4連続得点で4点差まで詰め寄った。その後は互いに得点を重ねる激しい攻防戦が展開されたが、23分24－20、25分25－21と優位をキープした広島が前半のリードを守り切って快勝、この時点で2位に浮上した。

手痛い黒星を喫したオムロンは翌日のソニー戦で開始9分5－0と先行。しかし、ここからタイムアウトをとったソニーが高い位置での守りでオムロンの攻撃の芽を摘み、高橋の速攻などで19分に逆転すると、その後は1点を争う大接戦となった。後半に入り、東濱、藤井らで得点を重ねたオムロンが15分21－18と先行したが、ここからソニーはヘッドコーチの郭が強打を連発して26分25－24と逆転に成功、終盤もオムロンの反則退場に乘着て貴重な追加点を奪い、白熱戦にピリオドを打った。

首位の北國に好調の広島が挑んだ一戦は、前半18分まで7－7と互角の展開から、前日に右手を負傷したエース上町に代わってレフトバックに入った北國・中村が3連取、チームを勢いづけた。北國は後半も果敢なディフェンスで相手ミスを誘い、次々と速攻を繰り出した。呉のロングで必死に追いつがる広島だが、ノーマークシュートを北國・GK田代に阻まれて苦戦。北國は得点が止まりかけた18分過ぎから新加入の樋口（元ソニー）が効果的なシュートを決め、勝利を決定づけた。なお前日に50試合連続得点を記録した広島・植垣は、この試合で通算300得点を達成した。



①開幕5連勝を飾った大崎電気・森 ②北國銀行に新加入した樋口がキラリと光る活躍を見せた

第6週の日程

10月16日(土)	福井	北陸電力福井体育館フレア(えちぜん鉄道観音町駅徒歩5分)	13:00～	(男)	北 陸 電 力 × トヨタ紡織九州
	愛知	中村スポーツセンター(地下鉄東山線中村日赤駅徒歩5分)	13:00～	(女)	三重バイオレットアイリス × オムロン
	広島	東区スポーツセンター(アストラムライン牛田駅徒歩2分)	15:00～	(男)	大同特殊鋼 × 大崎電気
10月17日(日)	石川	小松総合体育館(JR北陸本線小松駅徒歩20分)	14:00～	(女)	広島メイプルレッズ × HC名古屋
	広島	小松総合体育館(JR北陸本線小松駅徒歩20分)	16:00～	(女)	北 國 銀 行 × ソニーセミコンダクタ九州
	広島	湧永満之記念体育館(JR芸備線甲立駅車10分)	14:00～	(男)	湧 永 製 薬 × 豊 田 合 成

車体が順当に2勝目マーク

10月9日、福井での男子・北陸電力－琉球コラソンは、一進一退のまま、試合は終盤に突入。後半18分、23－22と北電1点リードの場面から、琉球はエース村山のゴールを皮切りに、24分過ぎまでに4連取。琉球が接戦にピリオドを打ちかけたが、ここから北電も懸命に粘り、桜井の連続7mスローで1点差。北電はさらに残り1秒、高橋のゴールで追いつき、引き分けに持ち込んだ。

10日、愛知でのトヨタ車体－琉球戦は、アグレッシブなディフェンスで車体を苦しめた琉球が、開始8分、5－4と先行。それでも車体は新人G K甲斐の好守からの攻撃で、力強く琉球ディフェンスを突破。15分には8－5と車体が態勢を入れ替えた。琉球も射程距離で食らいたが、車体は門山の強打や香川のカットインで優位をキープ。最終的には31－22で車体が2勝目をマークした。

◆ 10月9日(土) 男子
山形・東根市民体育館

大同特殊鋼	26	(13-14)	25	トヨタ紡織九州
5勝0分0敗		(13-11)		3勝0分2敗
K	田中	松野	K	<0/2>
4/9	棚原	中畠	3/5	
2/2	1/7	野村	西端	3/5
5/10	末松	上田	0/0	
0/0	浦田	松信	1/2	
1/1	地引	村上秀	4/9	
8/11	武田	呉相民	6/11	
0/0	岸川	佐久間	1/3	
K	高木	村上勝	0/0	
2/3	山城	海道	1/3	
K	東谷	川	K	
0/0	下村	藤本	0/0	
0/0	松永	藤山	6/16	
3/4	渡久川	石黒	0/0	

2/2 24/45 7(FPP)13 25/54 0/0
審判 (池淵・檜崎) 観客 927人

◆ 10月9日(土) 男子
東京・墨田区総合体育館

大崎電気	34	(13-17)	30	湧永製菓
5勝0分0敗		(21-13)		3勝0分2敗
K	浦和	志水	K	<0/1>
4/7	小澤	谷村	2/8	
1/2	前田	木村	4/4	
5/7	豊田	坂本	2/3	
3/3	1/5	東長濱	山	1/2
1/1	永島	福田	0/0	
0/1	横地	佐藤	3/6	
5/7	森名	嘉	0/0	
3/6	岩永	樋口	3/4	
0/0	夏山	新	8/10	
1/1	猪妻	今井	0/2	
1/2	石川	松村	K	<0/2>
<1/1>	K	吉田	古家	1/8
9/12	宮崎	東長濱	6/13	0/1

3/3 31/51 7(FPP)10 30/60 0/1
審判 (黒木龍・黒木秀) 観客 1112人

◆ 10月9日(土) 男子
福井・北陸電力福井体育館フレア

北陸電力	26	(13-14)	26	琉球コラソン
1勝1分3敗		(13-12)		1勝1分3敗
5/7	高橋	久高	0/0	
1/4	神田	村山	4/9	0/1
0/1	切越	水野矢	2/2	
3/3	4/7	桜井	栗崎	3/3
1/1	前田	池田	3/3	
2/2	高田	志慶真	0/0	
0/0	杉山	内田	K	<0/1>
5/8	落合	名嘉	2/3	
0/2	石塚	内山	1/1	
<1/1>	K	廣瀬	高田	7/12
5/5	山原	石田	K	<0/2>
K	有江	水野紀	4/9	
0/0	櫛田			

3/3 23/37 7(FPP)14 26/42 0/1
審判 (多田・中館) 観客 300人

◆ 10月9日(土) 男子
愛知・稲沢市総合体育館

トヨタ車体	36	(23-10)	24	豊田合成
1勝0分4敗		(13-14)		0勝0分5敗
1/3	石戸	榊原	2/2	
4/5	佐々木	原	1/1	
3/4	安藤	野田	6/9	1/2
2/4	藤田	大橋	3/6	
1/1	北出	桶谷	0/3	
3/3	富田	中島	1/6	
3/3	光増	森光	1/2	
7/8	鶴谷	加藤	0/0	
<1/1>	K	坪根	K	
1/4	香川	今村	4/10	
5/8	崎前	中村	4/6	
2/5	銘苅	芳仲	1/3	
<0/1>	K	甲斐	藤堂	K
4/5	門山	米本	0/1	

0/0 36/53 4(FPP)7 23/49 1/2
審判 (北嶋・比留間) 観客 656人

◆ 10月10日(日) 男子
愛知・ブラザー工業体育館

トヨタ車体	31	(16-12)	22	琉球コラソン
2勝0分4敗		(15-10)		1勝1分4敗
7/7	佐々木	久高	0/0	
3/3	高智	村山	2/6	2/2
1/2	安藤	水野矢	2/2	
3/4	藤田	栗崎	5/8	1/1
1/3	木切倉	池田	0/1	
1/2	北出	志慶真	0/2	
0/1	富田	内田	K	<1/1>
5/6	鶴谷	名嘉	3/5	
<0/2>	K	坪根	内山	0/1
4/8	香川	高田	6/15	
1/2	崎前	石田	K	
0/1	1/4	銘苅	水野紀	1/4
<0/1>	K	甲斐		
4/10	門山			

0/1 31/52 10(FPP)15 19/44 3/3
審判 (佐々木・安田) 観客 780人

トピックス

愛知大会は楽しい企画が盛りだくさん！

現在日本リーグに男子3チーム、女子1チームのホームチームを抱える愛知県は第35回大会も県内11会場にて27試合を開催します。

この各会場にて毎年実施されているのが県内会場統一の「ご観戦抽選プレゼント！」です。県内各会場にて観覧された方々に抽選券を配布しリーグ戦終了後抽選し当選者を決定いたします。今年は「A賞」に恒例となっています「プレーオフ観戦セット（観戦チケット＋交通費）」を3組6名様、「B賞」に「ニンテンドーDSiLL本体」を4名様、「C賞」も恒例となっています「ハンドボールシューズ（希望サイズ品）」を5名様と豪華な賞品が抽選により当選します。昨年は男子プレーオフ決勝が愛知県勢の対決となり観戦した当選者からはとても好評であり今年も決勝で愛知県勢の対決が期待されています。

10月23日（土）24日（日）には県内4会場に全ての男子チームが集結し男女合わせて8試合の熱いバトル

が繰り広げられることでしょう。ぜひ会場に来場していただき熱いバトルの目撃者になりましょう。

なお、愛知県内各会場では「ご観戦抽選プレゼント！」のほかに各種イベントを企画しています。イベントの一部を紹介させていただきます。

☆10月23日（土）

東海市民体育館：チアリーディングショー実施

知立市福祉体育館：ハーフタイムに中学生による和太鼓実施

大治町スポーツセンター：ハーフタイムに的当て紙ヒコキ投げゲーム、選手カルトクイズ実施

☆10月24日（日）

春日井市総合体育館：来場者抽選会実施

大治町スポーツセンター：ハーフタイムに的当て紙ヒコキ投げゲーム、選手カルトクイズ実施



10月9日、石川での女子・北國銀行－HC名古屋戦は、名古屋が阪本のポストシュート、鈴木との7mスローで2連取発進。それでも、北國も登録されたばかりの樋口のゴールなどでたちまち態勢を整えて逆転。そのまま差を広げた北國が、前半を15－6と大きくリードした。後半も得点ベースこそ上がらなかったものの、北國の優位は不動。一丸となって粘る名古屋を振り払った北國が、開幕からの連勝を6に伸ばした。同日、福井でのソニーセミコンダクタ九州－三重バイオレットアイリスは、長野、高栖らの活躍でソニーが4連取発進。序盤でベースをつかんだソニーセブンの足がよく動き、前半だけで18－9とソニーが大きくリードを奪った。ソニーは後半も快調。退場者も続いて流れをつかめない三重を尻目に、9分過ぎには27－10とさらにリードを広げ、早々に勝負を決めて3勝目をあげた。

10日、愛知でのHC名古屋―三重戦は、まず三重が前半14分から17分にかけの4連打で抜け出しにかかるが、名古屋も19分、菅谷の7mスローから24分過ぎまでに6連取。これで13-9とした名古屋は、後半も高橋（瑛）、鈴木らの活躍でリード。追撃のリズムがかみ合わない三重に対し、名古屋は高橋（玲）、外本、鈴木らの活躍で22分過ぎには、23-17とリードを6点に広げた。名古屋としては、第31回リーグ以来となる白星が迫り、場内も期待と緊張感に包まれる。そんな中、宮下を軸とする三重の反撃をしのいだ名古屋が24-21で逃げ切り、地元で4シーズンぶりの白星をゲット、歓喜に包まれた。

◆ 10月9日(土) 女子
石川・小松市末広体育館

広島メイプルレッズ 28 (18-10) 23 オムロン
3勝2分1敗 10-13 3勝1分2敗

<0/1>	K	堂	面	藤	間	K	<1/4>
	3/4	土	屋	城	内	2/6	
	0/0	村	山	高	田	6/8	
	0/0	河	山	卷		2/3	
	5/9	大	前	稲	葉	1/2	
4/5	4/9	植	垣	吉	田	0/0	
	3/4	菅	野	藤	井	4/8	1/1
	1/2	早	川	石	立	1/6	
	2/12	呉	成	吉	田	0/1	
	0/0	五	月	久	野	0/0	
	K	横	田	永	山	1/1	
	0/0	安	齋	山	中	K	<0/1>
	0/0	伊	藤	前	田	0/0	
	6/8	新	城	東	濱	5/9	

◆ 10月9日(土) 女子
石川・小松市末広体育館

北國銀行 25 ($\begin{smallmatrix} 15-6 \\ 10-6 \end{smallmatrix}$) 12 HC名古屋
6勝0分0敗 0勝0分6敗

<0/2>	K	寺田	近藤	K	<0/2>
1/1	4/6	上町	池伊	1/2	
1/1	6/9	樋口	藤伊	1/4	
	1/1	佐久川	高橋瑛	2/5	
	0/2	川井	鈴木	1/6	2/2
	0/1	中村	菅谷	1/5	0/1
	5/8	横嶋	阪本	2/3	
	0/0	野路良	外本	0/2	
	1/5	翁長	上野	0/0	
<1/1>	K	田代	高橋玲	1/3	
	0/0	井上	家城	K	
	1/3	八十島	秋山	1/1	
	1/3	若松	横井	0/0	
	4/7	屋嘉	天野	0/0	

◆ 10月9日(土) 女子
福井・北陸電力福井体育館フレア

ソニーセミコン
ダクタ九州 37 (18- 9) 22 三重パイオレッ
ットアイリス
3勝1分2敗 1勝0分5敗

<0/2>	K	中島	浅井	K	<1/4>
	2/2	郭恵	横川	1/2	
	5/8	長野	戎野	1/2	
4/5	5/10	高橋	戎黒	0/0	
	8/10	田中	宮下	2/7	
	1/1	山田	谷口	0/1	
	0/4	儀間	石坂	7/12	
	2/5	高栖	飯田	1/1	
1/1	1/3	川崎	毛利	K	<0/2>
	1/3	黒木	星野	3/4	
<0/1>	K	飛田	伊藤	4/13	3/3
	0/0	石井	村尾	0/0	
	0/0	錦織			
	7/14	張素姫			

◆ 10月10日(日) 女子
石川・小松市末広体育館

ソニーセミコン
ダクタ九州 26 (10-10) 25 オムロン
4勝1分2敗 16-15 3勝1分3敗

<0/1>	K	中	島	藤	間	K	<1/4>
	3/5	郭	惠	城	内	4/4	
	4/8	長	野	高	田	4/4	
3/4	7/8	高	橋	卷		3/3	
	1/10	田	中	稻	葉	1/2	
	0/0	山	田	吉	田	0/0	
	0/0	儀	間	藤	井	5/12	2/2
	2/3	高	栖	石	立	1/5	
	0/0	川	崎	吉	田	1/1	
	5/8	黒	木	久	野	0/0	
<0/1>	K	飛	田	永	山	2/3	
	0/0	石	井	山	中	K	
	0/0	錦	織	前	田	1/2	
	1/7	張	素	東	濱	1/10	

◆ 10月10日(日) 女子
石川・小松市末広体育館

北國銀行	28	(13- 9)	23	広島メイプ ルレッズ
7勝0分0敗		(15-14)		3勝2分2敗

<0/3>	K	寺田	堂面	K	<1/4>
	0/0	鰻場	土屋	3/7	
3/5	4/10	樋口	村山	0/0	
	1/3	佐久川	河田	0/0	
	0/0	川井	大前	3/4	
	4/4	中村	植垣	6/11	3/3
	5/8	横嶋	菅野	0/2	
	3/4	野路良	早川	0/2	
	0/0	翁長	呉成玉	5/12	
	K	田代	五月女	0/0	
	0/0	井上	横田	K	<1/1>
	1/1	八十島	安齋	0/0	
	4/5	若松	伊藤	0/0	
	3/4	屋嘉	新城	3/6	

◆ 10月10日(日) 女子
愛知・ブラザー工業体育館

HC名古屋	24	(¹⁴⁻¹¹ ¹⁰⁻¹⁰)	21	三重バイオレットアイリス	
1勝0分6敗				1勝0分6敗	
<0/3>	K	近藤	浅井	K	<0/1>
	1/1	池田	横川	3/7	
	0/0	佐藤	戎野	2/4	
	7/8	高橋瑛	石黒	0/0	
1/1	5/13	鈴木	宮下	5/9	
1/1	1/5	菅谷	谷口	1/2	
	3/4	阪本	石坂	1/8	
	4/8	外本	飯田	0/0	
	0/0	上野	毛利	K	<0/1>
	1/3	高橋玲	星野	1/2	
<0/2>	K	秋城	伊藤	3/9	5/5
	0/3	家山	村尾	0/0	
	0/0	横井			
	0/0	天野			

男女個人ランキング 第5週終了

《男子》

《女子》

得点王

1 宮崎 大輔 (大崎電気)	39 点 (5試合)	1 伊藤 亜衣美 (バイオレットアイリス)	59 点 (7試合)
2 高田 匠 (琉球コラソン)	36 点 (6試合)	2 植垣 暁恵 (メイプルレッズ)	53 点 (7試合)
3 藤山 岳士 (トヨタ紡織九州)	34 点 (5試合)	3 高橋 恵 (ソニー)	47 点 (7試合)
4 今村 彰伸 (豊田合成)	33 点 (5試合)	4 上町 史織 (北國銀行)	45 点 (6試合)
5 村上 秀行 (トヨタ紡織九州)	32 点 (5試合)	5 藤井 紫緒 (オムロン)	37 点 (7試合)
6 野田 祐希 (豊田合成)	31 点 (5試合)	6 長野 かづさ (ソニー)	32 点 (7試合)
6 呉 相民 (トヨタ紡織九州)	31 点 (5試合)	7 呉 成玉 (メイプルレッズ)	31 点 (7試合)
8 東長濱 秀作 (湧永製薬)	30 点 (5試合)	8 高栖 由香 (ソニー)	29 点 (7試合)
9 末松 誠 (大同特殊鋼)	29 点 (5試合)	8 新城 明奈 (メイプルレッズ)	29 点 (7試合)
10 武田 享二 (大同特殊鋼)	28 点 (5試合)	8 横嶋 かおる (北國銀行)	29 点 (7試合)
11 新 建二 (湧永製薬)	27 点 (5試合)	11 大前 典子 (メイプルレッズ)	26 点 (7試合)
12 山城 貴志 (大同特殊鋼)	26 点 (5試合)	11 田中 美音子 (ソニー)	26 点 (7試合)
13 栗崎 純一 (琉球コラソン)	25 点 (6試合)	11 鈴木 身江子 (H C 名古屋)	26 点 (7試合)
13 豊田 賢治 (大崎電気)	25 点 (5試合)	14 土屋 友美 (メイプルレッズ)	25 点 (7試合)
13 門山 哲也 (トヨタ車体)	25 点 (6試合)	14 張 素姫 (ソニー)	25 点 (7試合)
13 村山 裕次 (琉球コラソン)	25 点 (6試合)	14 東濱 裕子 (オムロン)	25 点 (7試合)

フィールド得点

1 宮崎 大輔 (大崎電気)	39 点 (5試合)	1 伊藤 亜衣美 (バイオレットアイリス)	43 点 (7試合)
2 高田 匠 (琉球コラソン)	36 点 (6試合)	2 植垣 暁恵 (メイプルレッズ)	33 点 (7試合)
3 今村 彰伸 (豊田合成)	33 点 (5試合)	3 高橋 恵 (ソニー)	32 点 (7試合)
4 村上 秀行 (トヨタ紡織九州)	32 点 (5試合)	3 長野 かづさ (ソニー)	32 点 (7試合)
4 藤山 岳士 (トヨタ紡織九州)	32 点 (5試合)	5 呉 成玉 (メイプルレッズ)	31 点 (7試合)
6 呉 相民 (トヨタ紡織九州)	31 点 (5試合)	6 高栖 由香 (ソニー)	29 点 (7試合)
7 武田 享二 (大同特殊鋼)	28 点 (5試合)	6 新城 明奈 (メイプルレッズ)	29 点 (7試合)
8 新 建二 (湧永製薬)	26 点 (5試合)	6 横嶋 かおる (北國銀行)	29 点 (7試合)
8 末松 誠 (大同特殊鋼)	26 点 (5試合)	9 藤井 紫緒 (オムロン)	28 点 (7試合)
10 門山 哲也 (トヨタ車体)	25 点 (6試合)	10 上町 史織 (北國銀行)	27 点 (6試合)
10 東長濱 秀作 (湧永製薬)	25 点 (5試合)	11 大前 典子 (メイプルレッズ)	26 点 (7試合)
12 小澤 広太 (大崎電気)	24 点 (5試合)	11 田中 美音子 (ソニー)	26 点 (7試合)
12 豊田 賢治 (大崎電気)	24 点 (5試合)	13 土屋 友美 (メイプルレッズ)	25 点 (7試合)
12 落合 信也 (北陸電力)	24 点 (5試合)	13 張 素姫 (ソニー)	25 点 (7試合)
12 栗崎 純一 (琉球コラソン)	24 点 (6試合)	13 東濱 裕子 (オムロン)	25 点 (7試合)
12 野田 祐希 (豊田合成)	24 点 (5試合)		

シュート率 (フィールド得点ベスト10を対象)

1 宮崎 大輔 (大崎電気)	39点/ 56射 0.696	1 高栖 由香 (ソニー)	29点/ 38射 0.763
2 新 建二 (湧永製薬)	26点/ 39射 0.667	2 新城 明奈 (メイプルレッズ)	29点/ 40射 0.725
3 村上 秀行 (トヨタ紡織九州)	32点/ 50射 0.640	3 高橋 恵 (ソニー)	32点/ 47射 0.681
4 今村 彰伸 (豊田合成)	33点/ 55射 0.600	4 横嶋 かおる (北國銀行)	29点/ 47射 0.617
5 藤山 岳士 (トヨタ紡織九州)	32点/ 55射 0.582	5 長野 かづさ (ソニー)	32点/ 61射 0.525
6 末松 誠 (大同特殊鋼)	26点/ 48射 0.542	6 伊藤 亜衣美 (バイオレットアイリス)	43点/ 94射 0.457
7 武田 享二 (大同特殊鋼)	28点/ 52射 0.538	7 上町 史織 (北國銀行)	27点/ 62射 0.435
8 呉 相民 (トヨタ紡織九州)	31点/ 58射 0.534	8 植垣 暁恵 (メイプルレッズ)	33点/ 78射 0.423
9 門山 哲也 (トヨタ車体)	25点/ 52射 0.481	9 藤井 紫緒 (オムロン)	28点/ 68射 0.412
10 東長濱 秀作 (湧永製薬)	25点/ 54射 0.463	10 呉 成玉 (メイプルレッズ)	31点/ 77射 0.403

7mスロー得点

1 桜井 渉 (北陸電力)	8 点 (5試合)	1 植垣 暁恵 (メイプルレッズ)	20 点 (7試合)
2 東長濱 秀希 (大崎電気)	7 点 (5試合)	2 上町 史織 (北國銀行)	18 点 (6試合)
2 野田 祐希 (豊田合成)	7 点 (5試合)	3 伊藤 亜衣美 (バイオレットアイリス)	16 点 (7試合)
2 村山 裕次 (琉球コラソン)	7 点 (6試合)	4 高橋 恵 (ソニー)	15 点 (7試合)
5 東長濱 秀作 (湧永製薬)	5 点 (5試合)	5 藤井 紫緒 (オムロン)	9 点 (7試合)
		5 鈴木 身江子 (H C 名古屋)	9 点 (7試合)

7mスロー阻止率 (7mスローを受けた数が、チームの試合数以上のGKが対象)

1 吉田 耕平 (大崎電気)	3本/ 5射 0.600	1 藤間 かおり (オムロン)	9本/ 23射 0.391
2 内田 武志 (琉球コラソン)	3本/ 6射 0.500	2 堂面 妙子 (メイプルレッズ)	5本/ 15射 0.333
3 坪根 敏宏 (トヨタ車体)	2本/ 6射 0.333	3 浅井 友可里 (バイオレットアイリス)	3本/ 14射 0.214
4 石田 孝一 (琉球コラソン)	2本/ 8射 0.250	4 寺田 三友紀 (北國銀行)	4本/ 19射 0.211
5 松野 雅崇 (トヨタ紡織九州)	2本/ 11射 0.182	5 中島 亜樹 (ソニー)	3本/ 18射 0.167

選手・スタッフ登録情報

◇北國銀行

No. 5 樋口 真央 1984.07.09 161cm 58kg 左 大蔵中→桜花学園高→筑波大→ソニーセミコンダクタ九州
※10月9日から出場可能

第35回日本ハンドボールリーグ成績表 第5週終了 10月10日

順位	男子	大崎電気	大同特殊鋼	トヨタ紡織九州	湧永製薬	トヨタ車体	北陸電力	琉球コラソン	豊田合成	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差
1	大崎電気			37 ○ 35	34 ○ 30	32 ○ 30	34 ○ 24	44 ○ 28		5	5	0	0	10	181	147	34
2	大同特殊鋼			26 ○ 25	27 ○ 22	31 ○ 26	26 ○ 19		27 ○ 26	5	5	0	0	10	137	118	19
3	トヨタ紡織九州	35 ● 37	25 ● 26			33 ○ 30		28 ○ 22	41 ○ 29	5	3	0	2	6	162	144	18
4	湧永製薬	30 ● 34	22 ● 27			29 ○ 28	24 ○ 21	28 ○ 21		5	3	0	2	6	133	131	2
5	トヨタ車体	30 ● 32	26 ● 31	30 ● 33	28 ● 29			31 ○ 22	36 ○ 24	6	2	0	4	4	181	171	10
6	北陸電力	24 ● 34	19 ● 26		21 ● 24			26 △ 26	26 ○ 25	5	1	1	3	3	116	135	-19
7	琉球コラソン	28 ● 44		22 ● 28	21 ● 28	22 ● 31	26 △ 26		32 ○ 30	6	1	1	4	3	151	187	-36
8	豊田合成		26 ● 27	29 ● 41		24 ● 36	25 ● 26	30 ● 32		5	0	0	5	0	134	162	-28

順位	女子	北國銀行	ソニーセミコンダクタ九州	広島メイプルレッズ	オムロン	三重バイオレットアイリス	HC名古屋	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差
1	北國銀行		28 ○ 26	26 28 ○ ○ 21 23	23 ○ 20	27 ○ 23	27 25 ○ ○ 17 12	7	7	0	0	14	184	142	42
2	ソニーセミコンダクタ九州	26 ● 28		28 △ 28	15 26 ● ○ 17 25	39 37 ○ ○ 25 22	34 ○ 21	7	4	1	2	9	205	166	39
3	広島メイプルレッズ	21 23 ● ● 26 28	28 △ 28		25 28 △ ○ 25 23	35 ○ 29	39 ○ 16	7	3	2	2	8	199	175	24
4	オムロン	20 ● 23	17 25 ○ ● 15 26	25 23 △ ● 25 28		32 ○ 14	33 ○ 11	7	3	1	3	7	175	142	33
5	三重バイオレットアイリス	23 ● 27	25 22 ● ● 39 37	29 ● 35	14 ● 32		33 21 ○ ● 25 24	7	1	0	6	2	167	219	-52
6	HC名古屋	17 12 ● ● 27 25	21 ● 34	16 ● 39	11 ● 33	25 24 ● ○ 33 21		7	1	0	6	2	126	212	-86

※この星取り表は、シーズン途中は試合数に関係なく、仮の順位で並び替えてあります。

同勝点の場合は、1.対戦間勝点 2.対戦間得失点差 3.総得失点差 4.総得点 の多い順で順位付けしています。